

第3期米沢市工業振興計画(令和3年度～令和7年度)概要



基本目標『高付加価値化による持続可能なものづくり産業の実現』

本市の特色

- ◆伝統産業から情報・エレクトロニクス産業まで裾野の広い産業基盤
- ◆県内トップクラスの製造品出荷額等(平成30年県内1位、東北管内8位)
- ◆山形大学は最先端技術シーズを多数保有
- ◆企業・産業団体等の連携による各種ネットワークの充実

社会経済の潮流

- ◆新型コロナウイルスとニューノーマル
- ◆人口減少・少子高齢化の進行
- ◆DXの急速な進展
- ◆SDGsへの意識の高まり
- ◆次世代通信システム(5G)の整備
- ◆地域経済のグローバル化
- ◆脱炭素(カーボンニュートラル)と経済活動の両立

現状の分析

本市の課題

- ① 伸び悩む付加価値生産性の向上
- ② 次世代を担う人材の育成及び定着促進
- ③ 先端技術の活用や次世代産業への参入促進
- ④ 研究開発機能を有する企業の立地促進
- ⑤ 市内企業と立地企業の連携促進
- ⑥ 企業の移転・拡張ニーズに対応する産業用地の確保

問題解決に向けた検討

基本戦略・具体的施策

※ [] 内の番号は施策の推進により解決を目指す上記課題の番号を表している。

基本戦略1 ものづくり企業の経営基盤強化

重点施策 新時代を見据えたものづくり人材の育成及び定着の促進 [課題①②③]

その他の施策

企業競争力強化に向けた技術力・収益性の向上に対する支援 [課題①]
企業間連携・ネットワーク強化に対する支援 [課題①⑤]
販路開拓及び取引拡大に向けたマッチング支援 [課題①⑤]

基本戦略2 先端技術の活用促進によるものづくりの振興

重点施策 先端技術(有機エレクトロニクス関連・IoT・AI・ロボット等)の活用及びスタートアップ支援 [課題①②③]

基本戦略3 成長分野の企業誘致による産業集積・基盤強化

重点施策 新たな地域ものづくり牽引拠点の整備 [課題①④⑥]
波及効果が高く成長が見込まれる産業の立地促進 [課題①②③⑤]

その他の施策

本社機能・研究開発施設、スタートアップ等の立地促進 [課題①②③④]

産学官金の連携による推進

労働生産性や市民所得の向上の実現により、地域産業が活力にあふれ、市民が安定して働き続けることができる「ものづくりのまち米沢」を創造する

数値目標

製造業付加価値額：1,650億円(令和7年度)
従業員1人当たり付加価値額：1,650万円(令和7年度)